

JV-Campusでのコース修了に対する マイクロクレデンシャルとしての質保証



大庭良介

(博士(生命科学))

大学の国際化促進フォーラム JV-Campus運営委員会 委員長
筑波大学JV-Campus事業機構 プロジェクトリーダー
筑波大学JV-Campus連携室 室長
筑波大学教育推進部 教授

- ① JV-Campusとは
- ② JV-Campusにおけるマイククレデンシャル
 - 内部質保証（内容と体制）
 - 外部質保証（JMICROの活用）
 - JV-Campusマイククレデンシャルの展開

Japan Virtual Campus (JV-Campus) 構想 (大学の国際化促進フォーラムプロジェクト)

SGU事業・大学の国際化促進フォーラム (2024年12月31日、幹事校15大学、132機関参加)

JV-Campus運営委員会



幹事校

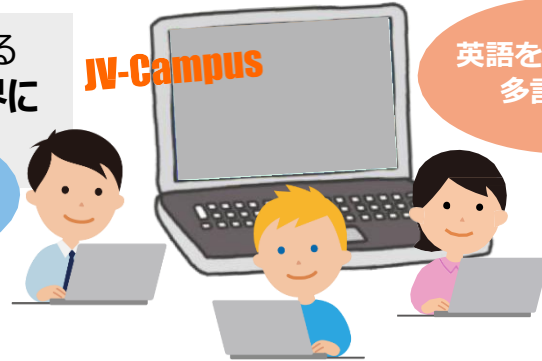


オールジャパンで結成する国際的なオンライン教育プラットフォーム (JV-Campus)

オールジャパンで多彩で魅力ある
戦略的科目群を構成し、世界に
発信。

世界や社会に通用
性のある多様な知
の科目の集積

~日本語教育及び日本の
強みを発信~



英語を中心とした
多言語発信

希望する国内外の大学が、自大学
の強みある教育コンテンツを世界に
提供。

- ☞ 「各大学専用BOX」の提供とサポート
- ▶ プラットフォーム環境システム提供
- ▶ ポータルサイト機能の提供

JV-Campus掲載資料

- ☞ 内閣官房「教育未来創造会議 我が国の未来をけん引する大学等と社会の在り方について(第一次提言) 工程表」(令和4年5月10日)
- ☞ デジタル田園都市国家構想基本方針2022 (令和4年6月7日 閣議決定)
- ☞ 新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画・フォローアップ2022 (令和4年6月22日 閣議決定)
- ☞ 中央教育審議会大学分科会「高等教育を軸としたグローバル政策の方向性」(令和4年6月22日)
- ☞ 内閣官房「未来を創造する若者の留学促進イニシアティブ 第二次提言参考資料」(令和5年4月)
- ☞ 文部科学省「大学の世界展開力強化事業 (R5採択) ~米国等との大学間交流形成支援~公募説明会」(令和5年4月)

未来を創造する若者の 留学促進イニシアティブ

J-MIRAI: Japan-Mobility and Internationalisation:
Re-engaging and Accelerating Initiative for future generations



JAPAN GOV THE GOVERNMENT OF JAPAN

2033年に向けた目標

日本人学生の派遣

50万人を派遣

コロナ前22.2万人

非英語圏の仏・独と
同等の水準へ

外国人留学生の受入れ・定着

40万人を受入れ

コロナ前31.8万人

留学生30万人計画の
受入れ増加ペースの維持

教育の国際化

国際的な
教育環境の整備や
対面・オンライン交流の推進



JV-Campus Vision

国際空港モデル



日本高等教育の玄関口

日本の高等教育

国際的オンライン教育
プラットフォーム

学習者と教育者を繋ぐ 国際的オンライン教育プラットフォーム
JV-Campus

日本の高等教育の玄関口として
“ヴァーチャル” から “リアル” へ

新たな教育スタイルの創造

織物の経糸と横糸のように
共に「知」を織り上げて手渡していく、
学習者と教育者の新しい関係を作ります



JV-Campus活用のシチュエーション例

> 海外からの留学生を増やしたい

- | | | |
|-------|----------------------|-----------------------|
| 導入 | ■ 留学生に日本に興味を持ってもらいたい | ⇒ 日本文化等 |
| | ■ 留学生の日本への留学の敷居を下げたい | ⇒ 日本語等 |
| リクルート | ■ 留学生に自大学を知ってもらいたい | ⇒ 大学紹介、個別コース等 |
| | ■ 留学生を積極的に自大学に誘導したい | ⇒ 事前単位付与コース等 |
| 留学後ケア | ■ 渡日後の語学教育 | ⇒ 日本語など |
| | ■ 豊富な英語教育コンテンツを届けたい | ⇒ 一般教養・専門・日本文化・リテラシー等 |
| 卒業後ケア | ■ 国内外での就職活動を支援したい | ⇒ インターンシップ、ビジネス日本語など |



> 日本人の留学を活性化し、効果を最大化したい

- | | | |
|-------|-----------------------------|-------------------------------|
| 導入 | ■ 海外の授業（英語の授業）を受けることを日常化したい | ⇒ 一般教養・専門・日本文化・リテラシー等 |
| | ■ 英語で日本文化を紹介できるようにしたい | ⇒ 日本文化等 |
| | ■ 海外大学の授業に慣れさせたい | ⇒ 海外大学提供コンテンツ |
| | ■ 留学の機会を紹介したい | ⇒ 海外留学プログラム |
| 留学後ケア | ■ 留学後も自大学の単位取得を可能にしたい | ⇒ 個別機関からの科目配信 |
| | ■ 留学経験を就職活動に活かしたい | ⇒ インターンシップ・ネットワーキング、ビジネス日本語など |



> スタッフの国際化を促したい

- 自己啓発：高等教育の国際化の理解や能力向上をしたい ⇒ 英語科目、SD科目、海外大学提供科目

> 社会とアカデミアをグローバルに接続したい

- 産官学民の新たな共鳴を生み出したい ⇒ ハブ機能、自治体・企業活動の教育コンテンツ化、社会リソースなど

JV-Campusプラットフォーム機能(日・英完備)

自己紹介

私はリーダーシップを発揮できる人材です。サッカー部では練習場所や時間が取れないことが問題でしたが、大学側に掛け合い週に2回の練習場所を確保し、時間を決め活動するようにメンバーと声掛けを行いました。さらに週の活動の録画を配信することで遠隔参加に努めた結果、加入率が前年度の3倍に伸びることができました。問題に焦点を当て、迅速に対応し、周りを良い意味で巻き込んでいる人材です。

趣味 テニス、水泳
性格 大らかで明るい
特技 料理

スキル

基本情報技術者 ACBDEF1234567890
ドイツ語技能検定試験3級 987654321
Officeエキスパート wyMxv-Esa56
マクドナルドALL JAPAN CREW CONTEST(AJCC)2023入賞

ビジョン

私はデジタル化で生活を豊かにする世界を目指しています。私の父は介護施設に入所しており、新型コロナウイルス感染症を機に連絡がとれなくなりました。しかしビデオ会議システムを用いて状況を知らることができました。会えない中でも、デジタル化のおかげでコミュニケーションが取れたことは非常に嬉しく思います。この関係を通じて「デジタル化で生活を豊かにする」ということを体感し、デジタル化で多くの人の生活を豊かにできればと思います。

経歴

2023.09- 株式会社デジタル・アレッジ ビジネスSOL事業部 インターン

学歴

2018.04-2021.03 茨城県立つくば商業高校 経営科
2021.04- 筑波大学 人間学群 教育学類

成果物

自作WEBサイト (ブログ) <https://.....com/myweb/>

取得バッジ

OPEN BADGE
獲得したバッジ
OPEN BADGE
獲得したバッジ
OPEN BADGE
獲得したバッジ
OPEN BADGE
獲得したバッジ
OPEN BADGE
獲得したバッジ

- ①ポータル機能; 様々な大学・機関・企業コンテンツの入口
- ②学習管理(LMS)機能; オンライン教育のマネジメント・実施機能
- ③動画配信機能; JVCコンテンツサーバから独自のオンデマンド配信
- ④eポートフォリオ機能; 学習歴管理・バッジ格納等
- ⑤デジタルバッジ・電子証明書発行機能; Verifiable Credentialsに準拠
- ⑥教材アーカイブ機能; NHK映像作品、専門家有志の教材
- ⑦セミナー機能; メタバースを実装



コンテンツ視聴 (リアルタイムでもよい)

PayPalによる支払いシステム

テストの実施

レポートの提出

掲示板による交流

成績管理

デジタルバッジ発行

JV-Campusのポートフォリオ・バッジ発行システム・学習システム

コンテンツ視聴 (リアルタイムでもよい)

PayPalによる 支払いシステム

【学習者へアプローチ可能】

eポートフォリオ(2024年11月)

テストの実施

問題 1
未解答
最大採点 1.00
予 評価に反映する

型という方法の特徴として正しいものを選択してください。

- 1. 特定の題材について分析的な理論を伝達する手段である
- 2. 再現性の高いものである
- 3. 專業級の熟練者に分解すると形骸化過程を失うものである
- 4. 形が伝える情報は「型」が示す設定の中のみで有効である

問題 2
未解答
最大採点 1.00
予 評価に反映する

型という方法の特徴として間違っているものを選択してください。

- 1. 要素分析的な理論的手段である
- 2. 保存的であり再現的である
- 3. 高專業の定義は変化する
- 4. 内在する情報は「型」の外でも有効である

First name Last name
Makoto Yanagawa

NO IMAGE

PROFILE

所属 筑波大学 国際局
職名 助教
専門 モデル理論
E-Mail yanagawa.makoto@md.tsubaka.ac.jp

見出し01 サンプルテキスト
見出し02 サンプルテキスト

ABOUT ME

自己紹介文 見出しのサンプルです

こちらに自己紹介文が入ります。この文章はダミーテキストです。文字の大きさ、色、字種、行間等のバランスを確認するために追加してあります。こちらに自己紹介文が入ります。この文章はダミーテキストです。文字の大きさ、色、字種、行間等のバランスを確認するために追加してあります。こちらに自己紹介文が入ります。

自己紹介文 見出しのサンプルです

こちらに自己紹介文が入ります。この文章はダミーテキストです。文字の大きさ、色、字種、行間等のバランスを確認するために追加してあります。こちらに自己紹介文が入ります。

職種 職名 居所 場所
教歩・ドライブ・仕事 どこでも寝れる 気が長い 興味が無い

好きな食べ物 嫌いな食べ物 家事分担
ハンバーグ トマト 朝食準備・ゴミ出し・食事片づけ

レポートの提出

掲示板による交流

Q&A

武道以外の型について

Kata other than ones found in Japanese traditional martial arts

返信をネスト表示する

武道以外の型について
2023年 12月 4日(月曜日) 18:45 - Wanio LyoSukeの投稿

先生の授業では、日本の家道の型について詳細な説明をいただきました。一方で、先生は伝統文化にも型があると思っています。伝統文化の型について具体的に教えてくれませんか?

パーマリンク 返信

ユーザレポート - Wanio LyoSuke

成績管理

判定項目	計算済み加重	判定	範囲	パーセンテージ	フィードバック	コース合計への寄与
■ 型・形～日本伝統武道における教習の伝達方法～科学的アプローチを補完する方法として						
Mini test (Part1)	0.00 % (空白)	-	0-3	-		0.00 %
Mini test (Part2)	0.00 % (空白)	-	0-3	-		0.00 %
Mini test (Part3)	0.00 % (空白)	-	0-3	-		0.00 %
レポート課題	0.00 % (空白)	-	0-100	-		0.00 %
コース合計	-	-	0-5	-		-

デジタルバッジ 発行



バッジウォレット付

自己PR文 見出しのサンプルです

こちらに自己PR文が入ります。この文章はダミーテキストです。文字の大きさ、色、字種、行間等のバランスを確認するために追加してあります。こちらに自己PR文が入ります。この文章はダミーテキストです。文字の大きさ、色、字種、行間等のバランスを確認するために追加してあります。こちらに自己PR文が入ります。

自己PR文 見出しのサンプルです

こちらに自己PR文が入ります。この文章はダミーテキストです。文字の大きさ、色、字種、行間等のバランスを確認するために追加してあります。こちらに自己PR文が入ります。

見出し01 サンプルテキスト
見出し02 サンプルテキスト

BADGES

CAREER

200X-XX - 現在 05
200X-XX - 200X-XX 05
200X-XX - 200X-XX 05
200X-XX - 200X-XX 05
200X-XX - 200X-XX 05

デジタルバッジ・電子証明発行について

JV-Campusが所有するオンプレミス環境(筑波大学内にサーバを設置)

ユーザデータを含めて全て専用サーバで構築・保管

JVCampus ポータルサイト 訪問者数100万人を突破

合計時間22,685分の動画コンテンツを自前サーバで配信

JVCampus LMS
moodle™

ポータルサイトとの
連動APIを開発

連動

JVCampus
Openbadge ePortfolio

バッジ発行システム
バッジ連動eポートフォリオ

バッジ発行・ポートフォリオはデジタルナレッジ社からKnowledgeDeliver skill+のライセンス
供与→ベースとして独自のバッジ連動eポートフォリオを共同開発し、JVCサーバで稼働中

Your Open Badge can work as your evidence of the study record

ポートフォリオで管理



URLで共有

https://portfolio.jv-campus.org/badge/926CE45A-7037-4C5B-B722-AA10285591EA/

PDFで共有




共有

SNSで共有



バッジのデータ



発行者: JV-Campus

有効期限: 無期限

発行日: 2025/09/14

概要: 現代日本の社会事情を、「文化的・社会的背景」、「地域社会の課題」、「世界の中の日本」という3つの視点で理解し、現代日本の社会課題に取り組み基盤的知識を身につける。
This course aims to develop foundational knowledge for understanding and addressing key issues in contemporary Japanese society. It approaches these issues from three perspectives: Cultural and social background, Challenges in local communities, Japan's position in the world.

獲得条件: 学修成果 / Learning outcomes

- ・日本社会に適應する文化的・社会的背景を理解できる。
- ・日本の地域社会における課題と挑戦を理解できる。
- ・世界の中の日本の立ち位置と課題を理解できる。

1. To be able to understand the cultural and social background underlying Japanese society
2. To be able to understand the challenges and efforts in Japan's local communities
3. To be able to understand Japan's position and issues in the global context

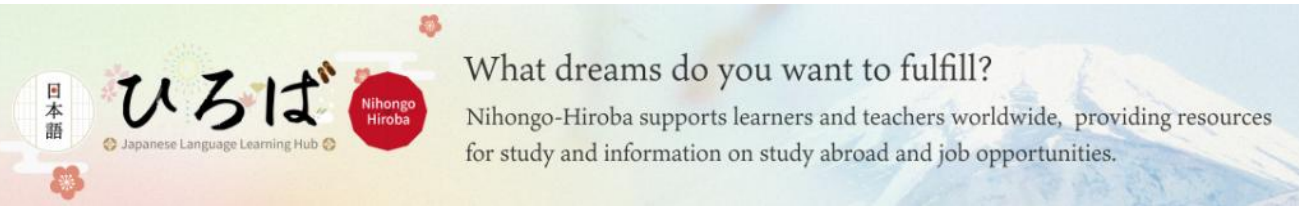
授業言語 / Language
英語
English

授業の方法 / Form of participation
講義・多肢選択テスト・オンデマンド
Lectures, Multiple-Choice Tests, On-Demand Lecture Video

学習量 (総学習時間 / Learner Effort)
・総学習時間75時間

JV-Campus日本語ひろばを通じた日本語学習のサポート from 2024.10

【日本語学習者と日本語教師の双方へのポータル】



日本語 ひろば Nihongo Hiroba
Japanese Language Learning Hub

What dreams do you want to fulfill?
Nihongo-Hiroba supports learners and teachers worldwide, providing resources for study and information on study abroad and job opportunities.

- ・11機関・35 日本語学習コース
- ・学習サポートツール紹介
- ・就職、留学、資格試験案内
- ・学習者・教師へのインタビュー



日本語 ひろば Nihongo Hiroba
Japanese Language Learning Hub

日本語ひろばとは >

始める・使う - Orientation -
探す・学ぶ - Library -
続ける・役に立つ - Tools -
進む・働く・受ける - Career Center -
会う・話す - Communication -
聞く - Interview -
知る - Report -

はじめ、使う。 Orientation

Coming soon

使い方を見る
日本語レベルチェック
日本語教師の方へ



聞く。 Interview
わたしの日本語 留学生インタビュー

知る。 Report
にほんごオーバーラッピング
英語のリスニングを強化したい。そのために必要なオーバーラッピングの活用方法を紹介します。

あなたの日本語 日本語教師インタビュー



あはな 会う、話す。 Communication

SNSで交流する。

Coming Soon >



さがす まな 探す、学ぶ。 Library

See More >

学びたい内容や日本語レベルからあなたにあったコンテンツを探す。

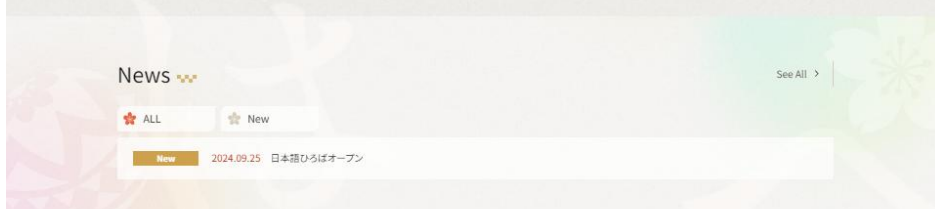
オンデマンド アカデミック日本語 日本文化・日本事情
日本語教師向け 受験・教員研修 日常の日本語 ビジネス日本語
ツール・アプリ 就職対策 ビジネス文化・マナー

つづける やく た 続ける、役に立つ。 Career Center

Tools

あなたの日本語の勉強に役に立つツールを見つける。

- > 【入門編】ひらがな・カタカナ・漢字を学ぶ
- > 【話す・聞く編】自然なやりとりや発音を身につける
- > 【読む編】興味あるテーマで多読に挑戦
- > 【辞書・翻訳編】オンライン辞書を使いこなす



News

See All >

★ ALL ☆ New

New 2024.09.25 日本語ひろばオープン



すすむ はたらく う 進む、働く、受ける。 Career Center

See More >

- > 日本への進学情報を見る
- > 日本の就職活動について知る
- > 日本語の試験を受ける



- On-demand Video Lecture Series: An Overview of the Japanese Language
- オンデマンド型ビデオ講座シリーズ An Overview of the Japanese Language
- TOEFL®リーディング対策講座
- ライプレッスンで学ぶ 日本語講座
- TOEFL®リーディング対策講座 (オンライン日本語講座)
- ビジネス日本語 ティーチング入門講座 (オンデマンド講座)
- 2024年度ビジネス日本語ティーチング入門講座 (オンデマンド講座)
- テスト対策講座 II (オンデマンド講座)
- 2024年度ビジネス日本語能力対策講座 II (オンデマンド講座)
- ゴッパ・リッパ 留学生就職促進プログラム
- 日本での就労を希望する留学生のためのビデオ教材の紹介
- Easy Japanese Conversation lessons
- やさしい日本語 Easy Japanese

JV-Campusの学習コンテンツ群

【無料で学習できる日本文化の授業】

Explore the Rich Tapestry of Japanese Culture

日本の歴史や文化を学ぶ



▶ 歴史と伝統の広がり ▶ 心と身体の文化論 ▶ 日本社会と生活文化 ▶ 現代の日本文化

History and Traditions / 歴史と伝統の広がり

日本の歴史と伝統を学ぶ

日本の古典文学や芸能の魅力、美術工芸の精緻さ、そして異文化との交流の歴史。多彩な視点から贈られた日本文化の軌跡を学び、その歴史と伝統に関して理解を深める機会を提供します。

The Fascination of Classical Japanese Literature and Performing Arts, the Exquisiteness of Japanese Arts and Crafts, and the History of Interaction with Other Cultures.

The program offers an opportunity to study Japanese culture including the fascination of classical Japanese literature and performing arts, the exquisiteness of arts and crafts, and the history of exchange with other cultures.



徳山時代より以前の、中国で描かれた姿を通して風神と雷神の来歴を知る

日本近代におけるアジアでの探検活動について知る

宮中女性の装束から源氏物語を読み解く

忍者の歴史と技芸や精神、忍者像の形成過程を学ぶ

Thought, Faith, and Martial Arts / 心と身体の文化論

日本の思想や哲学、神道・日本仏教の歴史。これらを通じて、日本文化の深奥を探る。

Society and Lifestyle / 日本社会と生活文化

多様な日本人の地域文化や生活文化に関する知見を深め、近代の家族や地域の活性化など多岐にわたる視点から日本社会の現状や課題を学ぶ。

Contemporary Culture / 現代の日本文化

日本社会と文化を視座論的なアプローチで分析する。現代のJapanese Animationを手がかりにした講義や、Japanese Mangaの歴史を解き明かし、具体的な制作技術に基づいた講義。このセクションでは映像表現やサブカルチャーといった現代の日本文化を学ぶことができます。

現代の日本文化

日本社会と文化を視座論的なアプローチで分析する。現代のJapanese Animationを手がかりにした講義や、Japanese Mangaの歴史を解き明かし、具体的な制作技術に基づいた講義。このセクションでは映像表現やサブカルチャーといった現代の日本文化を学ぶことができます。

現代の日本文化

日本社会と文化を視座論的なアプローチで分析する。現代のJapanese Animationを手がかりにした講義や、Japanese Mangaの歴史を解き明かし、具体的な制作技術に基づいた講義。このセクションでは映像表現やサブカルチャーといった現代の日本文化を学ぶことができます。

現代の日本文化

日本社会と文化を視座論的なアプローチで分析する。現代のJapanese Animationを手がかりにした講義や、Japanese Mangaの歴史を解き明かし、具体的な制作技術に基づいた講義。このセクションでは映像表現やサブカルチャーといった現代の日本文化を学ぶことができます。

現代の日本文化

日本社会と文化を視座論的なアプローチで分析する。現代のJapanese Animationを手がかりにした講義や、Japanese Mangaの歴史を解き明かし、具体的な制作技術に基づいた講義。このセクションでは映像表現やサブカルチャーといった現代の日本文化を学ぶことができます。

【無料で学習できるリテラシーの授業】

Learn new literacy about Digital, Business and the SDGs

リテラシー

▶ 日本社会とビジネス ▶ SDGsを学ぶ ▶ 数理・AI・データサイエンス

Society and Business / 日本社会とビジネス

日本社会とビジネス

日本企業と産業の分析、また日本企業への就労に関する実践的な講義を学ぶことによって日本社会とビジネスへの理解を深め、日本でのキャリア形成に役立つリテラシーを高めることが出来ます。

You can deepen your understanding of Japanese society and business, and increase your literacy to help you develop your career in Japan by analysis of Japanese companies and industries, and working for Japanese companies.



日本の産業・企業・就労に関する講義シリーズ

Coming Soon

Job-hunting Methods in Japan

日本の産業・企業・就労に関する講義シリーズ

Coming Soon

Trailer Image

Japanese Industries Today

日本の産業・企業・就労に関する講義シリーズ

Coming Soon

Self-Analysis Method

日本の産業・企業・就労に関する講義シリーズ

Coming Soon

Understanding the employment and working in Japan Part1

関西大学

日本で就職活動の方法

Learn SDGs / SDGsを学ぶ

このセクションではSDGs(持続可能な開発目標)達成の一環として、人々の多様性を受け入れる社会の実現に重要な「ダイバーシティ&インクルージョン」について、そしてSDGsの達成に重要な部分を占める、地球環境と経済・生活、またカーボンニュートラルとエネルギー技術について学ぶことが出来ます。

関西大学

日本の就職・就労に関する事情解説

無料

数理・AI・データサイエンス

データベースの活用方法

データベースの活用方法

データベースの活用方法

数理・AI・データサイエンス

データベースの活用方法

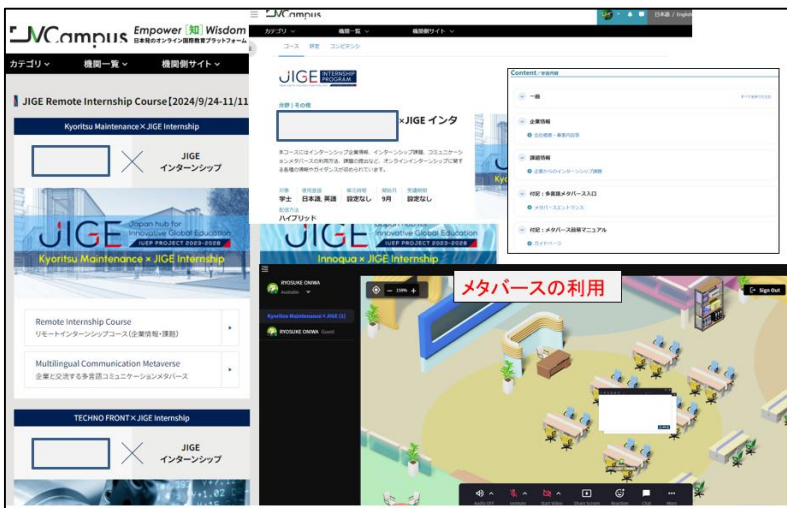
データベースの活用方法

データベースの活用方法

JV-Campus ヴァーチャルからリアルへの活用事例(2024年度)

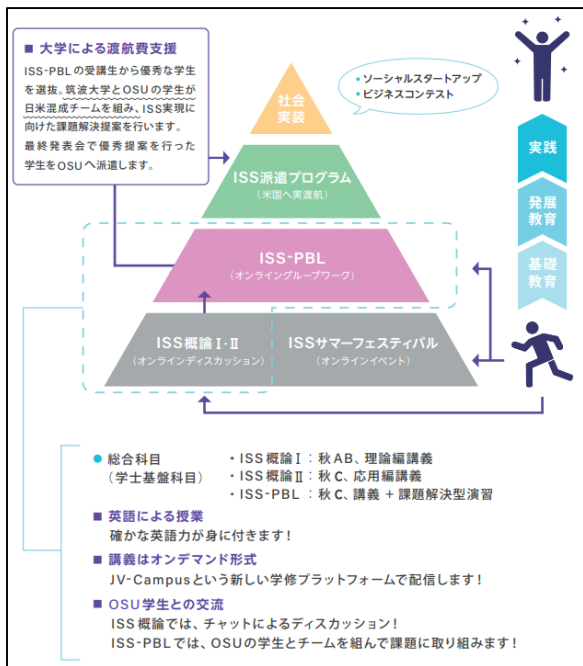
世界展開力事業における事例

JIGE(関西大学・東北大学・千葉大学)
によるメタバースを活用した
リアルタイム企業インターンシップ



JIGEリモートインターンシップPREPコース
PV数1281、User数259

筑波大学とオハイオ州立大学との間の
JVCと対面のハイブリッド形式による
オープンバッジ(OB)発行をともなう
多文化共修



ISSプログラム

— Inclusive Smart Society Program —
(米田オハイオ州立大学との共同教育プログラム)

Version : 4
Expiration Date : No expiration date
Application Date : 2024/9/14
Issued Date : 2024/9/14

Criteria : Learning outcomes
1. Develop international sense
2. Enhance presentation and communication skill
3. Understand Tsukuba city as an Inclusive Smart Society

Learning effort : 6 days
Type of assessment : P/F by
1. Presentation
2. Ability at JV-Campus

Description : Awarding body
University of Tsukuba ISS Program
Country of the awarding body : Japan
Language : English
Form of participation : Hybrid

Content :
1. Support for JIGE Program to attend OSU students at UT
2. Student on/off-site exchange and cultural experience at UT

69名にOBを発行済

ISS Visiting Program「日本・米国のデザイン体験」in Tsukuba
PV数 2666
User数 391

Inclusive Smart Society PBL
PV数 5521
User数 882

Inclusive Smart Society概論II
PV数 10237
User数 2059

Inclusive Smart Society概論I

JV-Campusポータルサイトの現状 (2022.4.1-2026.1.31)

訪問ユーザー数累計

427,147 人

ページ表示回数累計

2,232,898 回

LMS学習登録者数

7,872 回

参加大学・団体・企業数

個別機関BOX
企業BOX計

88 機関

参加機関の総コンテンツ数

個別機関BOX
企業BOXの
公開数計

745 コンテンツ

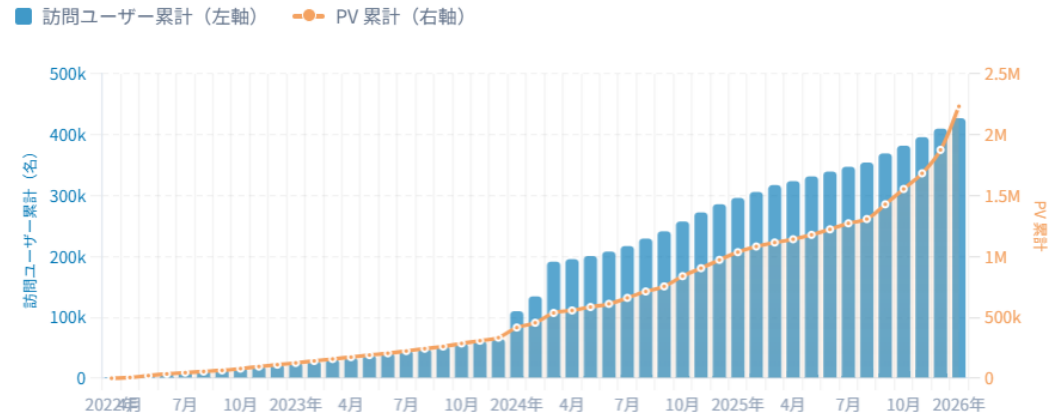
共同利用コンテンツ数

116 コンテンツ

サイトへの訪問が確認された国・地域

185 countries and regions

累計訪問ユーザー数(棒) + 累計PV数(折れ線)

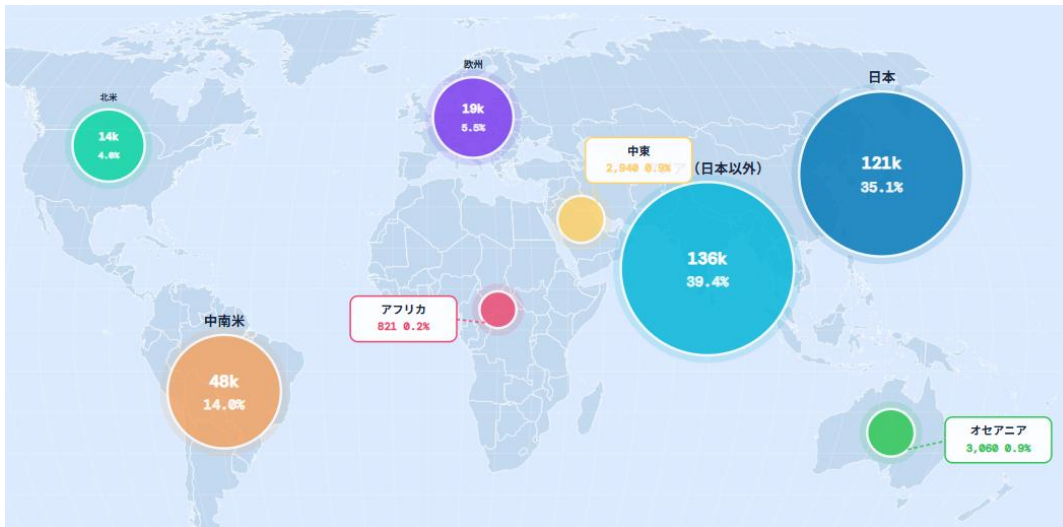


Moodle登録者数累計(棒) × 訪問ユーザー累計(折れ線)



JV-Campusポータルサイト世界アクセス状況 (2022.4.1~2026.1.31)

訪問ユーザ数の約7割が海外ユーザ (2022.4-2026. 1)



順位	国名	エリア	訪問者数	割合
1	Japan	日本	120,932	35.1%
2	Indonesia	アジア (日本以外)	32,456	9.4%
3	Bangladesh	アジア (日本以外)	32,346	9.4%
4	Nepal	アジア (日本以外)	26,812	7.8%
5	Brazil	中南米	13,162	3.8%
6	United States	北米	12,952	3.8%
7	Thailand	アジア (日本以外)	9,738	2.8%
8	Suriname	中南米	9,729	2.8%
9	China	アジア (日本以外)	9,121	2.6%
10	India	アジア (日本以外)	6,022	1.7%
11	Bolivia	中南米	5,513	1.6%
12	Colombia	中南米	5,512	1.6%
13	Venezuela	中南米	4,688	1.4%
14	Guyana	中南米	4,368	1.3%
15	Taiwan	アジア (日本以外)	3,096	0.9%
16	Singapore	アジア (日本以外)	2,648	0.8%
17	Kosovo	欧州	2,578	0.7%
18	Pakistan	アジア (日本以外)	2,525	0.7%
19	Ukraine	欧州	2,395	0.7%
20	Argentina	中南米	2,158	0.6%

1. 国別訪問者数のソースはWordpressのみ、moodleは取得対象外です。
2. サイト訪問時のデータから訪問ユーザのロケーションを推測しています。
3. ロケーションが特定できない訪問者は除外されています。
4. 国名の表記はgoogleデータ中の名称に拠って記載しております。
5. Googleの定義において、重複訪問者数は除外されています。

- ① JV-Campusとは
- ② JV-Campusにおけるマイククレデンシャル
 - 内部質保証（内容と体制）
 - 外部質保証（JMICROの活用）
 - JV-Campusマイククレデンシャルの展開



JV-Campusオリジナルの**英語で学ぶ**マイクロレデンシャルコース
(Open Badgeとeポートフォリオをフル活用)
(2025年度9月より配信；β版無償)

日本文化 マイクロレデンシャル

学習内容(案) (予定・合計1.5単位分×2)

- ・現代日本社会の諸課題 (1.5単位分) (24授業回)
- ・日本の伝統文化・思想リテラシー (1.5単位分) (24授業回)



JV-Campusにおける教育コンテンツ および マイクロレデンシャルの質保証

JV-Campus独自の コンテンツフォーマット

- ・授業一回=15分程度の動画×3本=45分以上の動画を基本
- ・各15分動画に理解度確認の小テスト(多肢選択等)
- ・授業一回ごとに課題(小テストやレポート課題等)
 - ・日英両言語対応
- ・独自の科目分類、動画構成・背景・フォント等

内部質保証

JV-Campus運営委員会による コンテンツの質保証

- ・月1回の運営会議
- ・専門部会による予備審査体制

外部質保証 一般社団法人



日本マイクロレデンシャル機構による マイクロレデンシャルの質保証

- ・ガイドライン、フレームワーク、審査体制の構築

マイクロレデンシャルだけでなく、より簡便に学習できるサーティフィケーションコース(OB付)なども準備中

Micro-credential Program just opened on Sep 12, 2025!



Micro-Credential / マイクロクレデンシャルプログラム

[See More >](#)

A new certification that makes learning visible

The micro-credentials issued by JV-Campus represent a new framework for certifying academic achievement, providing formal recognition of the knowledge and skills that learners have acquired. Upon completing online courses or programs offered through JV-Campus, learners' achievements are recorded, and they are awarded a digital badge or certificate.

A distinctive feature of this system is that it enables learners to gain credentials within a relatively short period of time, while also making their learning outcomes visible. By accumulating studies in various areas—such as language learning, information literacy, business skills, and cultural understanding—learners can build their own personalized portfolio of competencies.

On Air Campus Micro-Credential Program

現代日本社会の諸課題リテラシー
Literacy of Contemporary
Japanese Society

JVCampus

JVCampus

[Early Access] Literacy of
Contemporary Japanese Society

Learning **Free**

On Air Campus Micro-Credential Program

日本の伝統文化・思想リテラシー
Literacy of Traditional
Japanese Culture and Thought

JVCampus

JVCampus

[Early Access] Literacy of Traditional
Japanese Culture and Thought

Learning **Free**

Micro-credential Program just opened on Sep 12, 2025!

日本の伝統文化・思想リテラシー

マイクロレデンシャルプログラム / 日本の伝統文化・思想リテラシー

内容

日本の伝統的な文化と思想を「宗教、哲学、武道、舞台芸術、書物、美術、服飾、飲物」という視点で理解し、現代の日本人や日本社会の慣習や生活を理解する基盤的知識を身につける。

キーワード

学習量(総学習時間)

総学習時間:

75 時間

内訳:

授業30時間(1授業{(15分講義+10分小テスト) x 3 clips} x 24回 = 1800分)

授業外学習45時間(補足的理解)

評価の方法

- 講義動画(15分)ごとに課される多肢選択問題の正誤
- 各カテゴリー(「現代日本の文化的・社会的背景(授業8回分)」「地域社会の課題と挑戦(授業8回分)」「世界中での日本(授業8回分)」)の修了ごとに課される総括理解に関する多肢選択問題の正誤

獲得条件

学修成果で記載された内容について以下の要件を満たすことでの達成したと判断する。

- ✓ 講義動画をすべて視聴すること
- ✓ 講義動画(15分)ごとに課される多肢選択問題に全問正解すること
- ✓ 各カテゴリー(「現代日本の文化的・社会的背景(授業8回分)」「地域社会の課題と挑戦(授業8回分)」「世界中での日本(授業8回分)」)の修了ごとに課される総括理解に関する多肢選択問題に全問正解すること

質保証

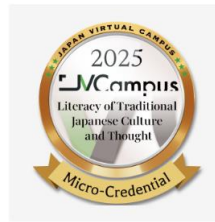
- 各授業に関してはJV-Campus運営委員会において基準とフレームワークを満たしているか審査と毎年の自己点検を実施
- マイクロレデンシャルのパッケージ化に関してはJV-Campus運営委員会においてマイクロレデンシャルをデジタル発行するためのマイクロレデンシャルのフレームワーク(枠組み)1.0(https://micro-credential-jwg.org/wp-content/uploads/2024/04/MC_frameworkver1.0.pdf)の基準を満たしているか毎年の自己点検を実施
- 一般社団法人日本マイクロレデンシャル機構による外部評価および認証

単位/その他の認定

- 学修総時間としては1.5単位に相当

受講に関する前提条件

特になし



受講料

無料

受講コースの詳細

発行機関

JV-Campus

発行国/地域

日本

言語

英語

実施方法

- 講義
- 多肢選択テスト
- オンデマンド

レベル

- 大学学部レベル
- JEQF Level 6 (<https://niadqe.jp/information/higher-education-degree-2/>)

証明書

JV-CampusよりMicrocredential「現代日本社会の諸課題リテラシー」オープンバッジを発行する。オープンバッジは一般社団法人日本マイクロレデンシャル機構(<https://micro-credential-jwg.org/>)が発行する「マイクロレデンシャルをデジタル発行するためのガイドライン 3.0」に準拠する。

Content / 学習内容

▼ 詳細

日本の伝統的な宗教・哲学

講義名

日本における宗教:概論

本科目は、現代日本における「宗教」の捉え方をクリティカルに扱う科目である。宗教に関する基本的な情報、宗教研究における学術的なアプローチ、そして「日本の宗教」に関する一般的な言説を解説する。これらの目的を達成するために、本科目は、日本の宗教についてよく耳にする3つのステレオタイプの発言を批判的に検証することを中心に構成されている。その3つの表現は「日本人は無宗教である」、「日本の宗教には共通の特徴がある」と「日本人は宗教的であるが、彼らはそれを知らないだけである」である。

コンテンツ作成

千葉大学

- 「日本人は無宗教である」と宗教研究
- 日本の宗教に関する教科書
- 統計で見る日本の宗教

講義名

神道と持続可能性

神道の神話の粗筋を説明して、そこから読み取れる神道の世界観、自然観、人間観の特徴を説明する。その上で、自然環境の保全において重要な役割を果たしている稲と木と麻と神道神話との関わりを述べ、今日までのそれぞれの生産の歴史と今日の課題を説明する。これによって、神道が持続可能性に対して果たす役割について考えることを促す。

コンテンツ作成

皇學館大学

- 神道の神話の前半の説明
- 神道の神話の後半と植物の起源
- 神道と稲、木、大麻

講義名

お祓いと神道

神道は、日本の自然環境や歴史の影響を受けて、現在の姿へと変容してきた。祓は、神道の中でも重要なもので、その歴史を辿ると、神道や、その基層をなす日本文化がみえてくる。この動画では、現在の祓を読み解きながら、その形成過程や思想、さらには日本人の清浄観を説明する。また、國學院大学は、明治15年(1882)以来、神道研究・古典研究を進めてきており、関連する学術資産を数多く有する。動画では、これらも活用する

コンテンツ作成

國學院大学

- 神道儀式とお祓いの起源
- お祓いと夏祭り
- お祓いの祭具と儀式の場

JV-Campusにおける教育コンテンツ および マイクロレデンシャルの質保証

JV-Campus独自の コンテンツフォーマット

- ・授業一回=15分程度の動画 x 3本=45分以上の動画を基本
- ・各15分動画に理解度確認の小テスト(多肢選択等)
- ・授業一回ごとに課題(小テストやレポート課題等)
 - ・日英両言語対応
- ・独自の科目分類、動画構成・背景・フォント等

内部質保証

JV-Campus運営委員会による コンテンツの質保証

- ・月1回の運営会議
- ・専門部会による予備審査体制

外部質保証

一般社団法人



日本マイクロレデンシャル機構による マイクロレデンシャルの質保証

- ・ガイドライン、フレームワーク、審査体制の構築

How is contemporary Japanese society often understood? (Cont.)

- The binary images of:
 - high technology and tradition
 - urban cities and rural areas with great nature
- **Strong economy=affluent society**
- **salaryman(male white-collar workers = middle-class men) and their spouses as housewives.**

The aims of this whole lecture:
1. To understand Japanese society beyond uniform images through the perspective of social class
2. To understand Japan (and other countries) from diverse and critical approaches



Source: Vogel(1999)



Source: Bester, et al. (eds) (2011)

- To understand Japan (and other countries) from diverse and critical approaches.

Time left 0:29:49

Hide

Question 1

Not yet answered

Flag question

What does the example of the Titanic illustrate about social class?

Select one or more:

- Social class does not matter in life or death situations.
- Social class significantly affects life experiences and "life chances".
- Third-class passengers are more likely to survive in disasters.
- Social class only matters in extreme circumstances.

Question 2

Not yet answered

Flag question

Which of the following statements is true regarding social class in Japan?

Select one or more:

- The term "class" (kaikyū) is commonly used in Japan.
- Japan has historically maintained a status-oriented hierarchy.
- Due to its rapid economic growth, Japan has been recognized as a "100 million middle-class society" up to the present day.
- The term "gap society" (kakusa shakai) has been used in Japan since the 1980s.

Question 3

Not yet answered

Flag question

Which of the following statements accurately describes Japan's economic trends?

Select one or more:

- Japan experienced high economic growth from 1955 to 1973, leading to the perception of a "one-hundred million middle-class society."
- Japan's economy continued to thrive even after the collapse of the bubble economy in the early 1990s.
- The increase in non-regular employment began in the late 1970s.
- The Great East Japan Earthquake had no significant impact on Japan's economy.

JV-Campusにおける内部質保証②(JV-Campus運営委員会)

SGU事業・大学の国際化促進フォーラム(2024年12月31日、幹事校15大学、132機関参加)

JV-Campus運営委員会



幹事校



JV-Campusにおける教育コンテンツ および

マイクロレデンシャルの質保証

JV-Campus独自の コンテンツフォーマット

- ・授業一回=15分程度の動画 x 3本=45分以上の動画を基本
- ・各15分動画に理解度確認の小テスト(多肢選択等)
- ・授業一回ごとに課題(小テストやレポート課題等)
 - ・日英両言語対応
- ・独自の科目分類、動画構成・背景・フォント等

内部質保証

JV-Campus運営委員会による

コンテンツの質保証

- ・月1回の運営会議
- ・専門部会による予備審査体制

外部質保証 一般社団法人



日本マイクロレデンシャル機構による マイクロレデンシャルの質保証

- ・ガイドライン、フレームワーク、審査体制の構築

月1回の月例会議

「Japan Virtual Campus」運営委員会規約

【目的】

第1条 大学の国際化促進フォーラム(以下「本フォーラム」という。)規約第3条第1項第2号に定めるオンライン国際教育プラットフォーム事業「Japan Virtual Campus」の展開に際し、必要な事項を審議する「Japan Virtual Campus」運営委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

2 委員会の組織及び運営については、この規約の定めるところによる。

【組織】

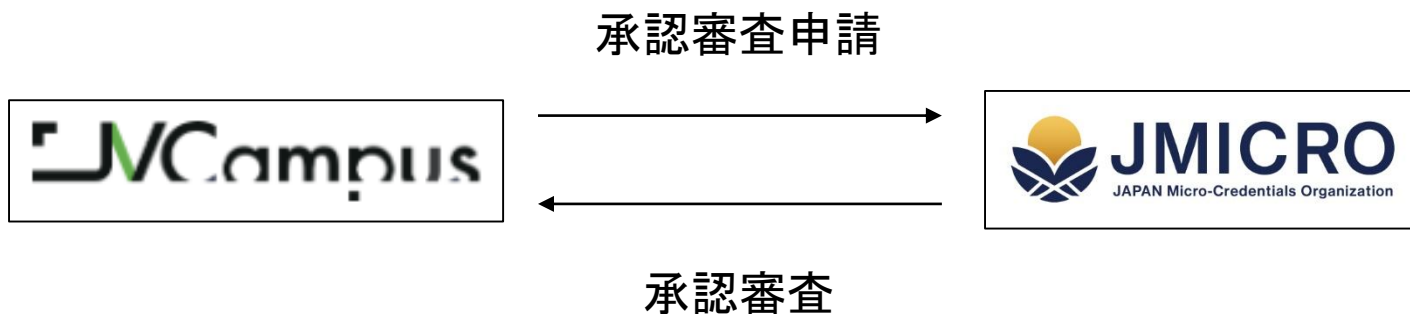
第2条 委員会は、次の各号に掲げる委員で組織し、本フォーラム規約第4条第4項に基づき、副代表幹事校の代表者が委員長としてこれを統括するものとする。

- (1) 代表幹事校の代表者
- (2) 副代表幹事校の代表者
- (3) 事務局幹事校の代表者
- (4) 幹事校のうちから、副代表幹事校が指名する幹事校の代表者 若干人
- (5) 幹事校以外の会員校等のうちから、副代表幹事校が指名する機関等の代表者 若干人
- (6) その他、副代表幹事校が委嘱する有識者 若干人

2 第1項第4号から第6号までの委員の指名又は委嘱に当たっては、あらかじめ委員会の意見を聴くものとする。

3 第1項第4号から第6号までの委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、指名又は委嘱する副代表幹事校の任期の終期を超えることはできない。

JV-Campusにおける外部質保証②(JMICROにおける質保証)



日本の伝統文化・思想リテラシー

マイクロクレデンシャルプログラム / 日本の伝統文化・思想リテラシー

内容

日本の伝統的な文化と思想を「宗教、哲学、武道、舞台芸術、書物、美術、服飾、飲物」という視点で理解し、現代の日本人や日本社会の慣習や生活を理解する基盤的知識を身につける。

キーワード

神道、仏教、哲学、武道、芝居、書、古文書、マンガ、着物、茶道、日本酒

学修成果

- 日本の伝統的な宗教観と哲学観を理解できる。
- 日本の伝統的な武道や舞台芸術といったパフォーマンスアートについてその思想とともに理解できる。
- 日本の伝統的な書物・美術・服飾・飲物といった生活に関わる文化についてその思想とともに理解できる。

学習量(総学習時間)



受講料

無料

受講コースの詳細

レベル

- 大学学部レベル
- JEQF Level 6
(<https://niadqe.jp/information/higher-education-degree-2/>)

証明書

JV-CampusよりMicrocredential「現代日本社会の諸課題リテラシー」オープンバッジを発行する。オープンバッジは一般社団法人日本マイクロクレデンシャル機構 (<https://micro-credential-jwg.org/>) が発行する「マイクロクレデンシャルをデジタル発行するためのガイドライン 3.0」に準拠する。

1. 設立の背景と趣旨

- ・ 現代社会において、急速に変化する労働市場や技術革新に対応するため、従来の学位制度に加え、柔軟かつ多様な学修成果の証明手段として「マイクロデンシヤル (Micro-credentials)」への関心が世界で高まりつつあり、UNESCOやOECD、EU諸国をはじめとした国際機関や政府がその重要性を認識し、標準化と認証の枠組みを推進しており、タイやオーストラリアなどのアジア太平洋地域においても同様の動きが進行している。
- ・ 一方、日本においては、マイクロデンシヤルの取り組みを始めているものの学修成果の信頼性確保、国際的互換性の担保、社会的な認知度の向上といった課題が依然として残っている。
- ・ こうした状況を踏まえ、国内におけるマイクロデンシヤルの質保証・標準仕様の策定と外部認証制度の構築を推進するため、民間・教育界・学術界・産業界の有識者が連携し、公益の立場で運営する一般社団法人を設立するに至った。

2. 事業内容

1) マイクロデンシヤルの仕様・標準の策定および普及

- ・UNESCO等の調査を踏まえ、国際連携を促進できる国内標準化の策定
- ・デジタル証明(Open Badge等)との連携設計

2) 第三者によるマイクロデンシヤルの外部承認制度の構築・運営

- ・教育機関・企業等が発行するプログラムに対する審査・承認
- ・公正かつ透明な承認プロセスの整備
- ・承認マーク・登録制度の管理

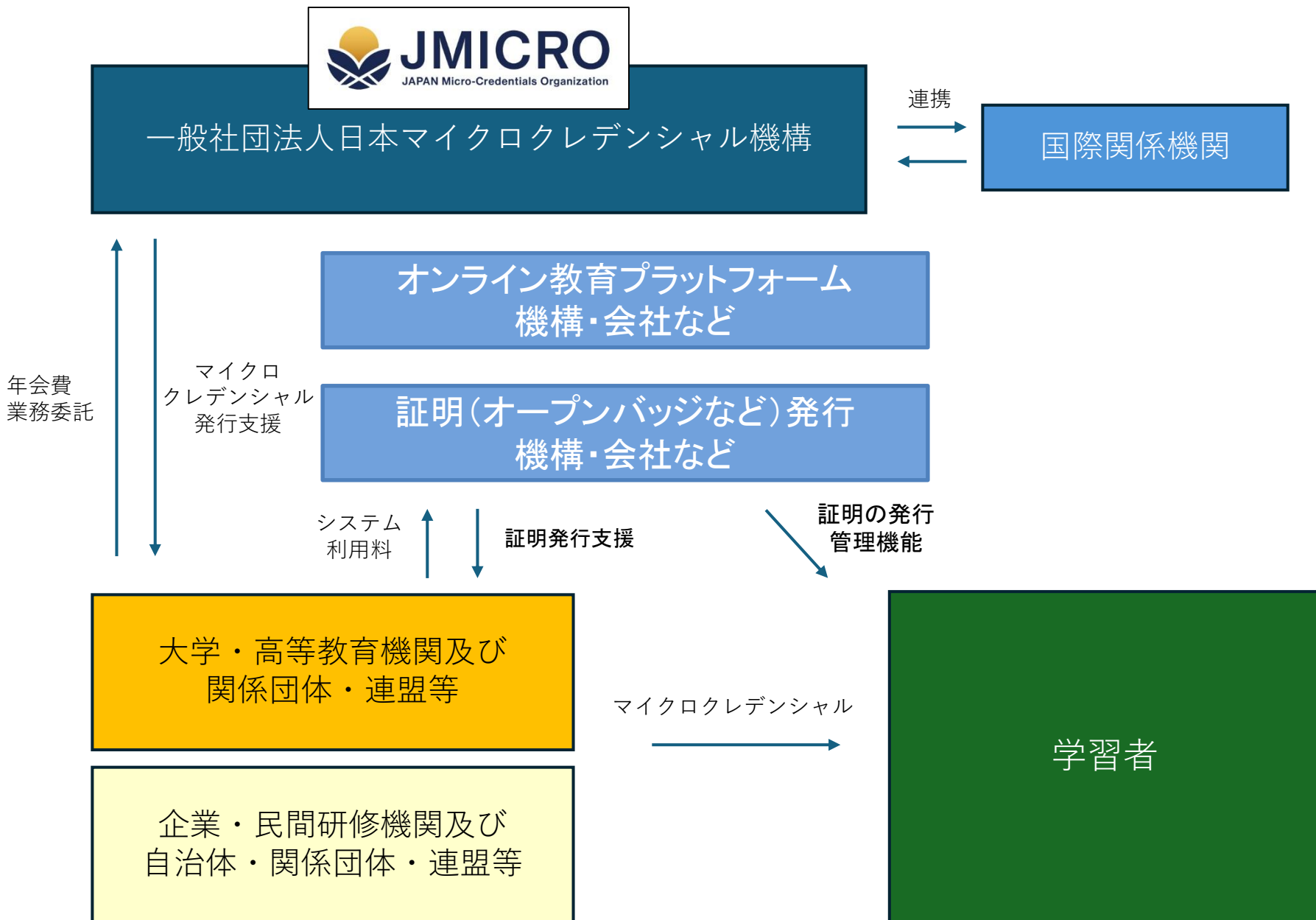
3) マイクロデンシヤルの可視化・流通促進

- ・資格枠組み(NQF)、スキル標準、職能フレームワークへのマイクロデンシヤルの体系的なマッピング
- ・取得者の学習成果の記録・ポートフォリオ支援
- ・企業や社会への認知・活用支援

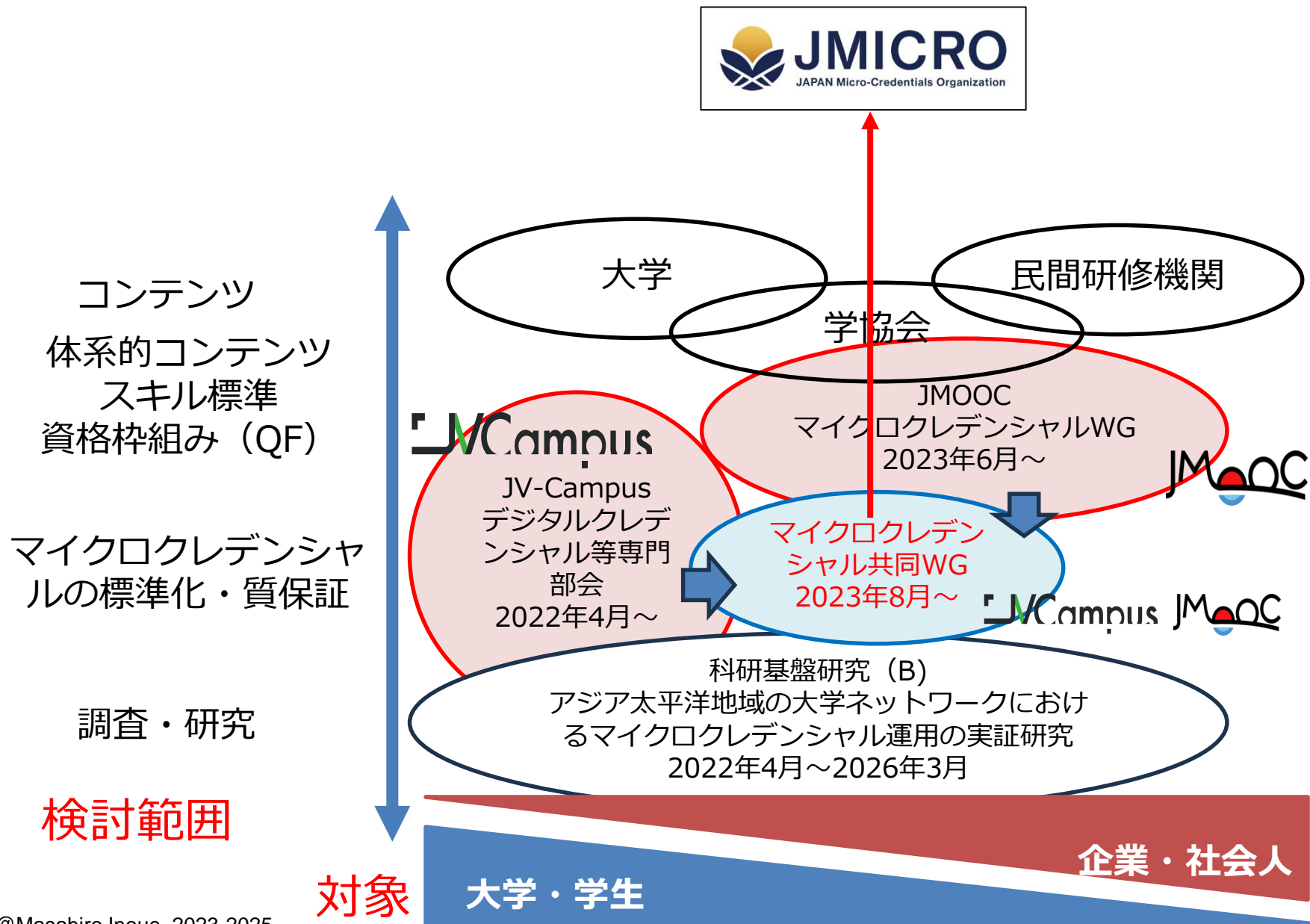
4) 政策提言および国際連携の推進

- ・日本国内の制度整備に向けた調査・政府への提言
- ・アジア太平洋地域を中心とした標準共有・相互承認の促進

一般社団法人日本マイクロデンシヤル機構(JMICRO)とは



JMICROとJV-Campus



「国際性 × 接続性 × 実効性」を見据えた展開

単なるオンライン教材配信ではなく、日本の大学群の知を束ね、国際的課題に応答し、単位接続性を持ち、大学と産業をつなぐ、「国際教育インフラ」になることを目指す。

1. 「国際共創型」マイクロレデンシャルへの発展
2. 「学修接続性」を高める設計
3. 「大学向けB2B展開」の深化
4. 「個人学習者体験」の強化
5. 「日本ブランド強化」戦略
6. 「評価・信頼性」の高度化

大学の国際化促進フォーラム JV-Campus運営委員会 (2022年1月7日発足)

/ Japan Forum for Internationalization of Universities JV-Campus Management Committee

委員長・議長

筑波大学

運営委員【2024年4月～】(機関名・順不同)

東北大学 立命館大学 東京外国語大学 関西大学 千葉大学 三重大学 筑波大学 一般社団法人日本オープンオンライン教育推進協議会 / 京都大学(委員所属機関)

筑波大学JV-Campus事業機構

/ JV-Campus Project Office【2024年4月～】

大庭 良介	教育推進部 教授	プロジェクトリーダー
柳川 信	国際局国際室 助教	情報システム全般
森尾 貴弘	国際局国際室 教授	アドバイザー
讃岐 勝	医学医療系 准教授	アドバイザー
	国際局国際室 (JV-Campus 担当)	事務・開発・運用



ご質問やご相談は以下までご遠慮なく願います。

support@jv-campus.org

JV-Campus Mutual Link Partners



引き続きの皆様のご指導、ご鞭撻、ご協力、
何卒よろしくお願いいたします。